

中小企業景況調査報告書【えひめ版】

愛媛県商工会連合会

全国商工会連合会では、四半期毎に景況調査を実施しており、本報告書は県内商工会地域の景気動向を【えひめ版】として作成したものです。

調査対象期間：令和5年度第4四半期（令和6年1月～3月期）






調査対象企業：150企業 回答企業：150企業

（製造業：29社 建設業：20社 小売業：42社 サービス業：59社）





DI方式

DIとは、各調査項目について〔増加・上昇・好転〕の割合から〔減少・低下・悪化〕の割合を差し引いた値で〔景気動向指数〕を表しています。

*記号とDI値の関係

 快晴 ~30.1	 晴 30.0 ~10.1	 薄曇 10.0 ~▲10.0	 曇 ▲10.1 ~▲30.0	 雨 ▲30.1~
---	--	--	--	---

1. 業況判断DIと天気図（2年間の推移）

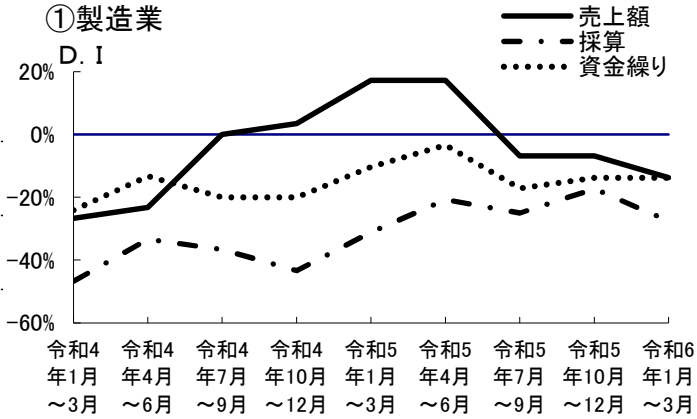
期別	業種別	①製造業		②建設業		③小売業		④サービス業		全体	
		天気	DI	天気	DI	天気	DI	天気	DI	天気	DI
期別	令和4年 1~3月期		▲ 51.8		▲ 30.0		▲ 66.7		▲ 53.4		▲ 50.5
	令和4年 4~6月期		▲ 13.3		▲ 25.0		▲ 51.2		▲ 21.4		▲ 27.7
	令和4年 7~9月期		▲ 13.4		▲ 10.0		▲ 57.1		▲ 22.8		▲ 25.8
	令和4年 10~12月期		▲ 23.3		▲ 5.0		▲ 45.2		▲ 29.3		▲ 25.7
	令和5年 1~3月期		▲ 10.4		▲ 35.0		▲ 39.5		▲ 22.4		▲ 26.8
	令和5年 4~6月期		0.0		▲ 10.0		▲ 41.5		▲ 1.7		▲ 13.3
	令和5年 7~9月期		▲ 20.7		▲ 10.0		▲ 40.5		▲ 5.1		▲ 19.1
	令和5年 10~12月期		▲ 10.7		▲ 20.0		▲ 45.2		▲ 15.2		▲ 22.8
	令和6年 1~3月期		▲ 20.7		▲ 20.0		▲ 45.2		▲ 19.3		▲ 26.3
	令和6年 4~6月期		▲ 10.4		▲ 15.0		▲ 45.2		▲ 10.6		▲ 20.3

（注1）業況判断DIポイント値は、前年同期と比較して業況が「好転」と答えた企業の割合から「悪化」と答えた企業の割合を引いたもの

（注2）「全体」のポイント値は全業種の単純平均値

2.業種別景気動向

①製造業



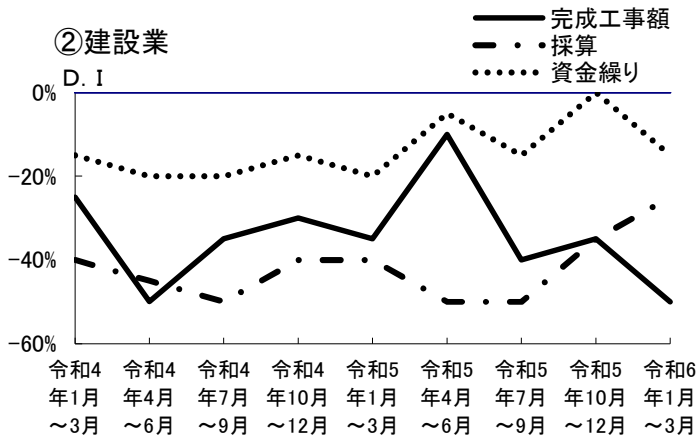
<前期比>

売上額 : やや悪化 (▲6.9→▲13.8 ポイント)
 採算 : 悪化 (▲17.3→▲27.6 ポイント)
 資金繰り : 横ばい (▲13.8→▲13.8 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

- 1位: 原材料価格の上昇 (31.0%)
- 2位: 生産設備の不足・老朽化、従業員の確保難 (17.2%)

②建設業



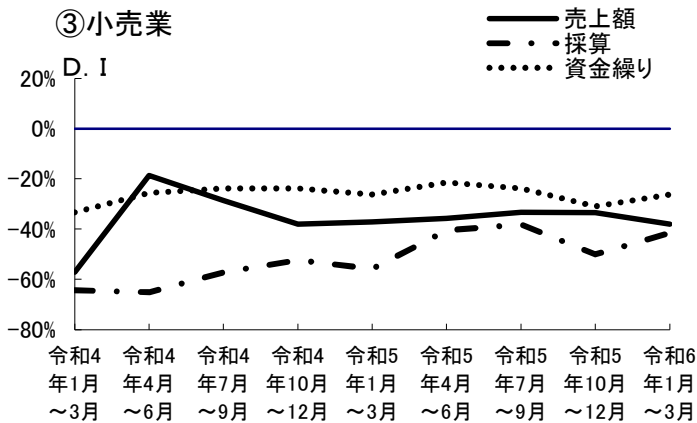
<前期比>

完成工事額 : 悪化 (▲35.0→▲50.0 ポイント)
 採算 : やや好転 (▲35.0→▲25.0 ポイント)
 資金繰り : 悪化 (0.0→▲15.0 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

- 1位: 材料価格の上昇 (27.8%)
- 2位: 従業員の確保難 (22.2%)

③小売業



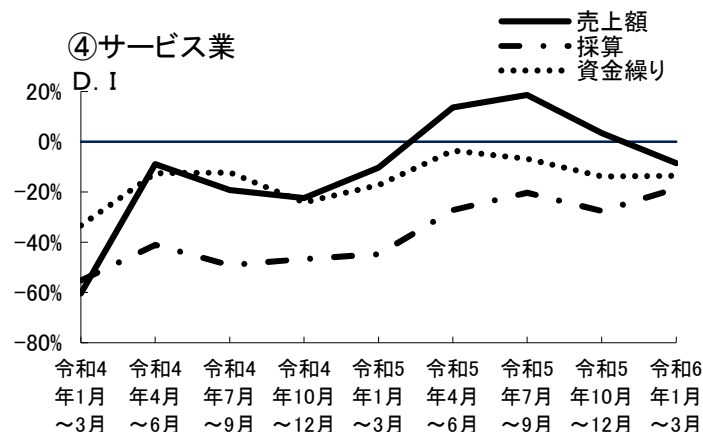
<前期比>

売上額 : やや悪化 (▲33.4→▲38.1 ポイント)
 採算 : やや好転 (▲50.0→▲41.5 ポイント)
 資金繰り : やや好転 (▲30.9→▲26.2 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

- 1位: 大型店・中型店の進出による競争の激化、
購買力の他地域への流出、需要の停滞 (17.5%)
- 2位: 仕入単価の上昇 (12.5%)

④サービス業



<前期比>

売上額 : 悪化 (3.4→▲8.5 ポイント)
 採算 : やや好転 (▲27.6→▲18.6 ポイント)
 資金繰り : ほぼ横ばい (▲13.8→▲13.5 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

- 1位: 材料等仕入単価の上昇 (36.0%)
- 2位: 従業員の確保難 (20.0%)